



赤ワインを楽しみませんか？



村井 俊治

ワインはとても好きです。日本酒も好きです。醸造酒のほうが私の体に合っているようです。最初は冷えた白ワインが好きでした。あまりワインの味が分からなかった時です。赤ワインは渋く感じました。ドイツのライン川沿いを旅行した時に、フルーティなモーゼル白ワインの味は忘れられません。

ワインを飲み続けるうちに赤ワインの方が美味しくなってきました。ヨーロッパの人に聞くと誰でもこのような傾向にあるようです。ある時オーストラリアの友人が赤ワインの通であるのを知りました。1年500本も赤ワインを買うのだそうです。ワイナリーを訪ねて、その年の気に入ったワインを選ぶそうです。毎日夫婦で1本ずつのみ、パーティなどで消費しますので、年に100本保存すると言います。ワインを物凄い数だけ保存していることになります。日本に来る時は免税の3本のワインを持ってきます。皆赤ワインです。薄口のカベルネ・ソービヨンやピノ・ノワールなどから飲み最後に濃いシラズを飲みます。勿論飲む前にコルクを開けておいて空気と接触させておきます。

減茶苦茶美味しいです。美味しいワインをいただくと不味いワインはすぐに分かるようになります。居酒屋で出るワインは不味いです。オーストラリアの友人が言うには、美味しいワインを飲みたければ、1本3000円以上を出しなさいと言います。私は美味しいワインを選ぶ能力がありませんので、この友人に依頼して、オーストラリアからお勧めの赤ワインを個人輸入することにしました。2ダースまでは、個人輸入できます。1週間もしないうちに成田からドア・トゥ・ドアで宅配してくれます。税金は玄関で払えば済みます税金は、1本当たり300円程度です。輸入手続は一切不要です。

私の好みは濃いシラズの赤ワインです。ドロツとした舌触りは応えられません。誰もが美味しいと言ってくれます。1本当たり、税金、航空宅配便代も含めて4000円くらいです。高いようですが賞味したらこの値段は納得です。それに2ダースも我が家に美味しいワインがあると思っただけでリッチになります。幸福感があるのです。

スイスの友人が赤ワインのコンテナーをくれました。底が広くなったガラスの容器で赤ワインを丸ごと1本分入れて、ゆっくり回して空気と赤ワインが接触するようにするのです。樽の臭いや渋みがなくなります。ワイングラスに注ぎにくいのですが、ワクワクした期待感が高まります。これぞ高級ワインの飲み方といっているようです。

皆さんも美味しい赤ワイン賞味しませんか？

